

広島で平和を考える	清水 文裕	2年	後期	長束
Education of Peace in Hiroshima		2単位	選択	講義

1. 授業の目的(ねらい)

- (a) 平和を考えることは、命の大切さを見詰め直すことです。科目名にサブタイトルを付けるなら「命－人間が人間らしく生きるために」。原爆は人間と都市にどのようなことをもたらしたのかを事実に基づいて科学的に検証します。被爆地で学ぶ意義を認識し、地域への貢献力を磨いてください。
- (b) 核分裂の発見・核兵器の出現に伴って、国際社会はどのように変化したのでしょうか。アジアや米国の原爆観、冷戦中と冷戦後の世界、原子力発電の課題など、多角的な学びによって、考えを深めてください。核時代をどう生きるかを一緒に考えましょう。

2. 授業計画

回	授業のテーマ	講義内容	授業目標	教材
1	きのご雲の下で I 初期の手記・体験記を読む	1949年に書かれた手記「原爆以後」と、1950年執筆の体験記「爆心に生き残る」の2編を読み、きのご雲の下でどんなことがあったのかを学ぶ。(発見学習)	被爆後5年以内の文献の特色をつかむ。被爆地で平和について学ぶ意義を確認する。	配布プリント
2	きのご雲の下で II 1枚の写真からどんなメッセージが聴こえますか?	熱線を浴びて大やけどをした少女の写真。よく観察すると何がでてくるか? 被写体の少女が、あなたに訴えたいことは?(発見学習)	原爆は人間にどんなことをもたらしたのかを理解する。科学的・論理的にとらえる。	画像 配布プリント
3	原爆被災をどう受け止めるか 『ヒロシマ 母たちの祈り』	1990年制作の記録映画を鑑賞。「被爆地の役割と課題」「被爆地で学ぶ意義」の2つをテーマにしてグループ・ディスカッションをする。	原爆を昔話で終わらせないためにあなたができることを見つける。	記録映画 配布プリント
4	被爆地復興 I 雑草の芽吹きにあなたは感動したことがありますか?	75年間、草木も生えないといわれた被爆地。廃虚に芽吹いた雑草を被爆者はどう受け止めたか? 写真と被災後の年表から、復興の足跡をたどる。(発見学習)	被爆した人たちが復興へ立ち上がった原動力は何だったのかを考える。	配布プリント
5	被爆地復興 II 広島平和記念都市建設法と初代公選市長浜井信三氏	「生きる勇気と希望を広島は与えてくれた」と、内戦終結によって広島アジア大会に参加できたカンボジアの選手団が語った。その原点を浜井氏の著書で読み解く。	被爆地が「平和を象徴する都市」になった足跡を1人の政治家の言動から学ぶ。	配布プリント
6	被爆地復興 III 生き残った者の責任、死者に対する罪の意識	教材は広島平和記念資料館の初代館長岡吾氏を取り上げたTSSの番組『ヒロシマを遺した男』。その生き方から生存者の使命感を学ぶ。(自己省察学習)	被爆地から平和を発信する意義と、継承するうえの課題を理解する。	テレビ番組 配布プリント
7	放射線と人間 いまだに解明し尽くされていない人体への影響	昭和20年代に被爆二世の出産にたずさわった助産師さんのインタビュー記事を読み、放射線が人間に与えた影響についてグループ・ディスカッション。	被爆による人体影響は、なぜ解明し尽くされていないのかを考える。	配布プリント
8	ゲストスピーカー講話	被爆された方の話を聞く。(自己省察学習) ※感想文を提出。	被爆後72年。被爆者のメッセージをあなたの生き方に重ね合わせて受け止める。	配布プリント
9	アジアの原爆観 旧日本軍による住民虐殺と広島	戦争の加害・被害を証言と歴史的文献によって検証する。日本軍が侵略した地域の人々の原爆観を学び、歴史観のミゾを埋める方策を探る。(発見学習)	被爆地の求めてきた「核兵器廃絶」がいまだに実現しない理由についても考察する。	配布プリント
10	米国の原爆観 スミソニアン論争から浮かび上がったことは?	米国の博物館が計画した原爆展に退役軍人らが反発し、中止になった。当時の新聞記事などの文献を教材に使用して、日本とは異なる原爆観を検証する。(発見学習)	1人ひとりが「和解の主役」になるために、どんなことができるかを見つける。	配布プリント
11	核時代突入 核分裂の発見・第二次大戦終結・冷戦時代の世界	人類は核戦争の危機に何度も直面した。朝鮮戦争、キューバ危機、ベトナム戦争を振り返り、なぜ核兵器の使用がけうろじて回避できたのかを考察する。	過去の出来事を、私たちが生きている時代に結び付けてとらえる力を高める。	配布プリント
12	冷戦終結 その意義と終結後の世界	冷戦終結によって国際社会はどのように変化したのか。核兵器を自ら放棄した国、非核地帯の広がりなどの事例に基づき、グループ・ディスカッション。	冷戦終結の意義を考える。歴史を、その時代を生きた人の気持ちになって学ぶ。	配布プリント
13	原子力「平和利用」 I 福島事故の教訓、日本の原発政策の現状	福島原発事故後の日本の原発政策や、核のごみ処理に悩む世界各国の現状を検証し、原子力の「平和利用」について考えを深める。(ペア・ワーク)	原子力発電について、多角的、かつ複眼思考で学び、あなたの意見をまとめる。	配布プリント
14	原子力「平和利用」 II 低線量被曝の課題、原発ゼロをめざす国々	核のごみ処理に悩む世界各国、「夢の燃料」と期待されたプルトニウムが今、お荷物。その現実をあなたはどう受け止めるか。(自己省察学習)	原子力発電への向き合い方を地球規模で考える。電力の消費者として暮らしを見直す。	配布プリント
15	核時代をどう生きるか あなたと同世代で被爆した人の証言	広島工業専門学校(広島大学工学部の前身)の3年生の時に被爆した坪井直さんの『100年インタビュー』(NHKBSテレビ)を鑑賞。(自己省察学習)	核兵器と人間についてより深く理解し、核時代をどう生きるかを考える。	インタビュー番組 配布プリント
16		なし		

3. 最終到達目標	4. 評価方法	5. 学修法(予習・復習等)
(a) 広島の大中学生として、教育者を志す学生として、子どもに平和を伝える力を磨く。 (b) 過去の出来事を現在の日本や世界に結びつけてとらえる力、歴史を自分のこととして受け止める力、その意味を考える力を伸ばす。	(a) 毎回の「記入用紙」…………… 60% ※4%×15回。1回1回の授業を大切に! (b) ゲストスピーカー講話の感想文…………… 15% (c) 期末レポート…………… 25%	(a) 授業中メモを取り、その日のうちにまとめた作業を。教材を読み直し、授業中に気づかなかった発見を次回の記入用紙に書いてください。復習に1時間半以上必要です。 (b) この授業の合言葉は「自学自修」です。

6. 教科書・参考図書等

教科書は使いません。

7. その他(履修の要件等)

- (a) 皆さんが「記入用紙」に書いた内容を教材として使ったり、ディスカッションを随時行ったりして理解を深めてもらいます。積極的に参加して、あなたの力を伸ばしましょう。(b)皆さんの到達度などによって授業計画を変更することがあります。

8. 学習成果との関連(短大のみ)

知識・理解	技能	態度・志向性	総合的学習・思考力
-------	----	--------	-----------